

講座受講生のビフォーアフター（第6回）

六ヶ所村教育委員会

社会教育課
社会教育主事
中央公民館
主幹

高田 真澄（たかだますみ）さん

豊川 沙織（とよかわさおり）さん



高田さん



豊川さん

平成28年度「公民館パワーアップ講座」受講生

講座を受講して公民館運営・地域活性化のヒントを得る

Q なぜ、この講座を受講しようと考えましたか？

高田：毎年、センターで実施している講座には参加しようと思っています。昨年度は「中堅職員研修」に参加しました。今年度は、本講座のチラシを見て、研修内容に魅力を感じました。「公民館パワーアップ講座」という名称にも惹かれました。

豊川：今年度初めて公民館に配属になりました。社会教育課兼務で、主に公民館の仕事をしています。教育委員会の勤務が初めてでわからないことが多く、ぜひ全4回に参加しようと思いました。

Q 講座を受講した感想や、参考になったことについて教えてください。

高田：社会教育は奥が深く、勉強すればするほど迷ってしまう面があります。そんな中、第1回の講義では、社会教育のあるべき姿を改めて聞き、初心に返ることができました。日々業務に取り組んでいますが、講義を聞くことで自分を見つめ直し、軌道修正できます。パネルトークでは、パネリストが公民館職員であり、各公民館の取組が大いに参考になりました。第3回の「青少年教育」に関する講座では、人材育成の仕組みづくりが勉強になりました。山形県川西町での事例に、人材育成の理想像を見ました。市町村により実情は異なるので全てを取り入れることはできませんが、自分の市町村での実践にヒントをもらえます。

豊川：第2回の「まちづくり」に関する演習では、他地区の方と交流しながら活動できました。六ヶ所村は南北に長く、北部と南部で互いのことを深く知らない実態があります。南北相互の交流を図り、村を活性化させる事業づくりのヒントになりました。また、私は学校のPTAにも関わっていますが、PTAの行事で村の文化財巡りもできると感じました。講座を受講することで、今まで気付かなかったことに気付くことができ、発想が豊かになります。



グループで和やかに演習。話の内容は、真剣そのもの。

Q 講座の内容を参考にして、今後実践してみたいことについて教えてください。

高田：村では、受講生が受講生のままで終わってしまっている実態があります。受講生からは講座終了後「来年もやってね」という声が上がりますが、受講生が講師として活動するようになるなど、講座を発展させたい思いがあります。村では「生涯学習講演会」を行っていますが、今後は演習も取り入れていきたいと考えようになりました。例えば地元で頑張っている方を講師に招き、まちおこしの演習をするなど、変革したいと思っています。住民を「育てる」という視点を大事にし、村民の生涯学習に対する意識が前向きになるよう努力したいと考えています。

豊川：村の講座づくりのヒントになりました。高田さんとの会話の中でも、「生涯学習講演会」を単なる講演会ではなく、村民を巻き込んで、これまでと手法を変えて実施したいと考えようになりました。講演会に参加してもらうだけでなく、例えば住民がサークルを立ち上げられるような支援をしていきたいと考えています。住民のアンケート調査でも出ていますが、村民の多くは、忙しく時間的ゆとりがない。それだけに、いかに興味をひく講座を作れるか、これが自分たちの腕の見せ所だと感じています。

Q これから講座を受講したいと思っている人へのメッセージをお願いします。

高田：研修で得たことの何を業務に活かすかはその人次第であり、それを見つけていくべきだと思います。受講した後の豊川さんとの会話でも、講座から得たヒントが異なり、驚きます。

豊川：初めて公民館に配属になった方には、特に受講をお勧めします。グループワークなどでは他の市町村の方とも交流ができ、参考になることが多いです。ぜひ、たくさん参加してほしいです。

公民館パワーアップ講座…公民館機能を活性化するため、公民館・市民センター職員等を対象に、公民館運営に必要な知識及び技術等について研修を行い、公民館関係職員相互の連携を図る講座です。年4回実施し、今年度は3回目までで、のべ101人の受講生が参加しました。